

2007年度 日本液晶学会第1回理事会議事録

日時： 2007年2月3日(土) 午後1時30分～6時30分

場所： 東京工業大学 大岡山キャンパス 南8号館

出席： 赤羽正志(会長)、内田龍男(副会長)、近藤克己(副会長)、
氏家誠司(総務)、守屋慶一(総務)、坂本謙二(財務)、香田智則(財務)、米谷 慎(編集)、
多辺由佳(編集)、能勢敏明(行事)、石川 謙(行事)、森武 洋(情報)、宇戸禎仁(情報)、
西川通則(会員)、渡辺良一(会員)、青木良夫(研究会)、鈴木成嘉(研究会)、
井上恭子(事務局:PAC)

欠席： 無

【報告事項】

年度切り替えによる全理事の自己紹介(新理事8名含む)

1. 総務委員会(内藤理事、資料07-02-1)

1) 前回理事会(2006年度第5回)議事録承認(総務資料1-1)

メール審議にて承認済→HP掲載

2) 事務局業務委託

(株)プロアクティブと事務局委託は自動契約更新→契約事項変更なし

3) メール審議報告(総務資料1-4)

4) 年間スケジュールの確認(総務資料1-5)

・学会賞 選考委員長→内田先生(副会長)に決定

2月 HP 応募の掲載

5月 学会誌応募の掲載

4月 公募締切(例年通り)

・2007年名誉会員の選出 推薦者が入れれば推薦して頂く、該当者がなければなし

・2007年役員選出 選考委員3名は、2年目の理事から選出→総務理事にて検討

5) 学会賞(総務資料1-7)

・学会賞規定「日本液晶学会賞受賞対象、条件および受賞件数 注1」の改定を前回理事会で承認されたが、「原則として」を挿入して、規定の改定はしない

・共著者の再受賞「原則」はないが、選考委員の判断にゆだねる

・外国人等の問題は継続して、審議事項

・推薦時にとらわれてしまうので分野とフォーラムの対応しない

→どの分野でもいいので、各フォーラムから推薦を頂く

6) 公共会員(例:特許庁)

公共会員はあくまで公共に学会誌を広めて頂くために特別な会員価格にしている。

講演会への参加は、非会員価格とする。

※特許庁にご説明するためにも、「公共会員」の明確な定義を決める必要がある。

他学会等を参考に調べて定義を決める→総務理事担当

7) 学会ロゴマーク作成:10周年記念

総務理事で具体的な方法を検討→今後メールにて連絡

学会誌特集号:7月までには必要

※公募は著作権の問題などで審査が難しいことや、プロに頼む場合は金額等の問題が出てくる。

2. 財務委員会(坂本理事、資料 07-02-2)

1)2006 年度収支報告(案)の報告

- ・2006年収支は黒字ー 討論会の収入がおおきかった
- ・管理費と編集費の支出が増えている
管理費は主査会議開催が増えた要因のひとつ→各委員の交通費
編集は特集記事の内容が充実した分、ページ数が増え、原稿料・印刷費とも増幅。
- ・講演会等の事業はプラスマイナス0で行われている
- ・このまま編集費の支出が増えることは懸念問題

2005年は、過去一番少ないページ数だったため、2006 年度の編集費は増大となっている。

(編集理事より)

(検討事項) 原稿料の見直し→原稿料を削減しても効果は小さい
上限規定の設置 →ただ多く書いても意味がないため、ページ数削減が重要
(坂本理事)

レイアウトの編集→1 月号などレイアウトの改善余地あり(坂本理事)
→現在、壮光舎印刷が編集を行っているが、編集委員が指示や最終校正できる余裕がないのが現状。

- ◆レイアウトのガイドラインを決められるか編集担当者と確認(米谷先生)
- ◆サンプルフォーマットを作成し、各著者へフォーマットに準じて書いて頂く等
- ◆原稿料の上限を決める、原稿料のページ単価は変えない→米谷先生

2. 1 今後の活動予定 → 資料の通り

3. 編集委員会(米谷理事、資料 07-02-3)

予約販売 大手企業にまとめて予約頂く等の働きかけをする

2. 審議事項

1)10 周年記念出版

①原稿料 執筆者は無→本にて納品
出版社から学会へは現金で支払→学会への支払は数ヶ月先でも可能

②予約販売

- ・価格をどうするか : 会員、非会員、企業等の大量予約など
- ・CD-ROM との抱き合わせは必要か?
CD-ROM が出してしまうと本が売れなくなる
CD-ROM vs 本の著作権は問題ないか
- ・CD-ROM 作成の問題点

学会誌バックナンバーの販売への影響→2006 年会誌購入料= ¥600,000 円

(※大きな収入源になっている)

本の販売促進を考えて頂くということで、CD-ROM との抱き合わせ予約方法を検討していたが、
予約販売との抱き合わせは、再度要検討→バックナンバーの購入状況を分析して今後、要検討

(ただ、電子データ化は今後の学会活動として必要→CD-ROM 作成は決定事項)

③書名の検討→ よい案があれば、メールにて米谷先生へ連絡する

4. 情報委員会(森武理事、資料 07-02-4)

- 1) 会員名簿(HP 上の検索版)の更新→年2回の更新を予定
- 2) HP への更新頻度をどうするか→終了した行事の掲載期間等

・HP への掲載期間を掲載依頼の時に伺う

・各フォーラムの掲載

◆掲載方法を統一する→情報委員担当

他の行事と同じ方法にするかフォーラム専用のページを作成するか等

→各フォーラム担当者へ連絡

5. 会員委員会(西川理事、資料 07-02-5)

- 1) 会員入退会リスト(2006年11月~2007年1月)の承認

→2年間未払いかつ住所不明者は、事務局より強制退会処理のため、今回は退会者が多い

- 2) 2007年年会費スケジュール変更

・督促:再請求書の送付→9月に変更

・再請求書のコンビニ支払締切→10月末に変更

<検討・確認事項>

銀行からの自動引き落としは出来ないか?→PAC事務局にて確認(MMBシステムには付随していない)

2年間未払い者(=2005年と2006年)の退会扱いは保留→会員数が1,000名以下になるのは問題あり

請求時期は他の学会と併せて、今後は毎年11月に請求、年内支払にする→請求時期を一化する

→一昨年、昨年と時期が一定していなかったことは反省点。

未払者への督促は、事務局からメールを出す→PAC事務局

(予算がかかるため、請求書の一斉再送付は、年に1度だけとする)

事務局は未払い者のリストを整理する。未払い状況(05年/06年、住所不明)→PAC事務局

■討論会・講演会

1)登録費

・協賛依頼→学会誌・HPに掲載される

※会員価格が協賛の条件となっている学会は、基本的に依頼しない(あくまで液晶学会会員を優先)

・共著者の割引:

CDを配らないという点では、実質、昨年より参加費は上がっている

講演会の全体予算は開催地によって変わるので、登録費を一定化してしまうことは難しい。

企業は会社の規制で発表しにくくなっているが、企業を増やしたい。

発表者割引はどうするか→再度、検討

●要旨集:Web上の公開

一括ダウンロードができる→サーバーのキャパは大丈夫か?

前日等に一齐にアクセス、ダウンロードしたても大丈夫か?

CDを作るか作らないで、予講集の締切日が変わる

CDかWebか → 再検討

紙媒体の復活？ 昨年の理事会で議論して、紙媒体は無くした経緯はどうなるのか

Web 公開→参加しない人も閲覧可能となる問題に対して制限を加えることはできない。

特許(事前に公開すると)の問題

→要検討事項多数、今後メール審議または次回の理事会(決定事項の日程の必要性に理事会を早める)